

# 西宮市政ニュース

Nishinomiya Muni. Bulletin

平成14年 5月25日 / 第1159号  
(2002年)

### 今号の主な記事

- 水道の使用開始・中止がホームページで  
申し込めるように 2面
- 精神障害者居宅介護等事業が始まります 2面
- 「市民祭り」パザール広場の出店団体募集 6面
- 保健だより 8面

発行 / 西宮市役所 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号  
TEL / 0798-35-3151 (代表)  
ホームページ / <http://www.nishi.or.jp/>  
編集 / 総合企画局市長室広報課 TEL / 0798-35-3400

毎月10日・25日 2回発行

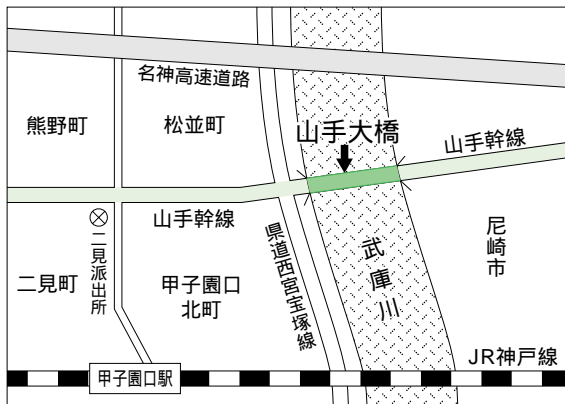
推計人口 44万9059人(女 23万4957人 男 21万4102人) 世帯数 18万5117 面積 100.18km<sup>2</sup>(平成14年5月1日現在)

西宮と尼崎を結ぶ

## 「山手大橋」が開通

5月31日午後1時に

5月31日午後1時に「山手大橋」が開通します。開通区間は、西宮市甲子園口北町から尼崎市南武庫之荘10丁目までの約250mです。幅員が22・8mで両側に3・3mの歩道を設けています。交通渋滞の解消や災害時の安全性などを確保するため、尼崎市とともに整備を進めてきました。シンプルで軽快なイメージとなるようデザインしています。問合せは道路建設課(0798・35・3608)へ。



尼崎方面へのルートが増えます

300ページを超える  
震災史料も掲載しています

## 「西宮現代史 第2巻」を刊行



5月30日  
から販売します

市は平成9年度から「西宮現代史」(全3巻)の編集作業を進めてきましたが、このほど初巻となる「西宮現代史 第2巻(政治・行政・財政資料編)」を刊行しました(A5判、約1050ページ、布貼上製本、貼箱入)。さきの阪神・淡路大震災の教訓を被災地西宮が後世に伝え、全国に発信するため、300ページを超える震災史料を掲載。市長の手書メモや災害対策本部の記録を初めて公開するなど、当時の混乱、緊迫した状況をありのままに再現しています。ほかに、日本初のコンピュータ誘致阻止運動、「環境の世紀」を先取りした「文教住宅都市宣言」など、戦後の西宮の歩みをしめす貴重な史料約400点を収録しています。各支所・図書館・公民館で閲覧できますが、5月30日から次の場所でも販売

【販売場所】市役所本庁舎1階売店、北口ギャラリー、フレントホール、プラホール、酒ミュージアム  
今後、通史編第1巻と産業経済・社会文化分野の資料編(第3巻)を刊行する予定ですが、市民の皆さんで、大正14年の市制施行以後の西宮の出来事、まちや暮らしの様子が分かる資料(日記や地図、写真、パンフレットなど)をお持ちの人は同室までご連絡ください



子供たちにいろんな体験のチャンスを!

## 子供たちの学びの充実に

### 「学校サポートにしのみや」事業の支援者募集

平成14年度から全面実施されている新学習指導要領では、子供たちの「生きる力」の育成が求められています。そこで、教員の指導だけでなく学校外の協力も得ながら、子供の主体的な学びの充実、開かれた学校の推進を図ろうと、学校サポートにしのみや事業を実施します。今回は、同事業の一環である「環境・美化サポート、教育サポート」《ささえ》を実施するための支援者を募集します。問合せは学校教育課(0798・35・3849)へ。

《サポート(ささえ)》  
内容  
環境・美化サポート  
学校で植樹・栽培している植物のケア・整備や、子供たちの安全・安心な学校生活保持の支援、学校で飼育している動物のケアなど。

環境・美化サポート  
学校で植樹・栽培している

### 教育サポート

「総合的な学習の時間」等での指導・協力や、中学校の部活動での専門的な知識や技能を用いた指導・協力、小学校英語活動補助、教科学習等における指導補助・引率、コンピュータ学習補助、学校図書館運営支援、読み聞かせ等本好きにする指導、その他専門的な知識・技術・経験を生かした活動など。

### 《対象・報酬》

対象は学校教育に理解のある人で、教員免許は不要です。支援活動に対して報酬などは支給されません。

### 《応募方法等》

各小・中・養護学校が教育委員会に置いてある「支援者」登録用紙に連絡先や支援可能曜日、支援内容など必要事項を書き、提出してください。同登録用紙の提出により、自動的に支援者として登録されます。その後、各学校が支援者として依頼したい場合に連絡し、日程や支援内容について調整します。

## 梶原(ゆすはら)へ行こうよ!

交流事業参加の小学5年生を募集

教育委員会などは、西宮・梶原(ゆすはら)交流事業の参加者を募集します。対象は小学5年生です。毎年、西宮市と友好都市・高知県梶原町の子供たちが交互に訪問し、交流を深

めています。今年は、西宮の子供たちが梶原町を訪れ、同町の小学5年生と四万十川の清流で川遊びを楽しんだり、ホームステイをししたりして交流を深めます。【日程】8月3日(6日(3泊)。交通機関は飛行機(往路)とバス(復路)【費用】1万6500円【定員】40人(男女各20人)【申込】往復八ガキに住